

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2007年2月28日

75号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-3 1-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

—地域の中にきめ細かな支えあいのきずなを—

## より深く暮らしの中へ！！

春の嵐が吹き荒れて、活動ホームの八朔オレンジの実がすっかり落ちてしまいました。わずかな緑をなぎ倒して吹く強い風は、砂埃が迷惑なのですが、これからくる活動的な季節を予感させて、なにか心が浮き立つのも覚えます。

\* \* \*

さて、いよいよ横浜市の来年度の福祉予算も見えました。事業所ではそれぞれに試算をして、運営委員会を迎える季節でもあります。

自立支援法により、「しもだ」をはじめ横浜市のいわゆる強化型の地域活動ホーム2館は、揃ってNPO法人として「地域活動支援センター」へ衣替えをします（活動内容は今までと同じです）。グループホームに対する予算は残念ながら変わりません。

デイサービスや生活支援を行う地域活動ホームもそうですが、グループホームなどの小さな生活の場は、単に運営費の問題だけでなく、人手の問題や、地域の中に根付き暮らしの場として見守るといふ、公な制度のすき間を埋める活動が必要です。

その意味で、ここ数年活発化しつつある、地域に住む人々たちによる、地域福祉への取り組みが注目されます。

日吉地区社協の地域福祉活動5カ年計画「福祉のまち日吉ネットワーク会議」の中に障害者分科会も出来ました。そこでは小さな規模の交流会を繰り返し行うことで、これ

までの支援をより一層地域生活の場面まで深めていこうという試みが始まっています。

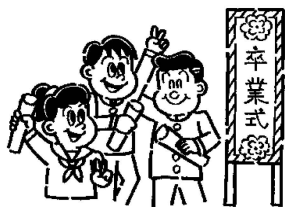
19年度には、新吉田町にも港北区社協ボランティアセンターのランチが出来ますので、新しい活動の展開が期待されます。ただ、自分たちに合ったサービスは、努力なしにはありません。

さしずめ今度の「よつばホーム交流バザー」などを通じ、重度障害者に対する理解を深めていただけるよう、私たち『支える会』も頑張りましょう。



㊤ 障害者分科会・ボランティア会との懇談会

## 送り出す時の気持ち



鶴見養護学校 石瀬 有治

進路担当をしていると、いつもみんなを第1希望の進路先に調整できるとは限りません。それがつらいと感じたり、申し訳ない気持ちになる原因です。でも、結果的に第2希望、第3希望の所になったから、その人にとって良くなかったとは限りません。

究極の幸せは、愛されること、ほめられること、人の役に立つこと、人に必要とされることの4つだと聞いたことがあります。

そのうちの3つは仕事の中にもあります。自分のできることをして、ほめられ、人の役に立ち、必要とされる、そういう生活を送れるように願っています。

家から通える場所で、自分にあった仕事内容と仕事のペース、そして仲間のいる場所を探し、見学や実習を通して学校を卒業したあとの生活を考えてきました。

運と(うんと)縁があってそれぞれの場所が見つかったのです。

それぞれの進路先の中で、元気に輝いて生きることが、まわりの人を元気にし、家族の元気も作っていくのだと思います。



↑ ⑤港北区のいろいろな作業所の仲間達が集まって一緒に「ポッチャ大会」でたのしみました。

## よつばホーム5周年に感謝！ 新吉田町地域交流 **バザー**

日時： 3月31日(土曜日) 10:30~14:00

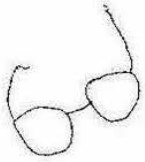
場所： グループホーム『よつばホーム』

港北区新吉田町5623-1 (九州石油裏隣り) TEL045-591-7040

内容： 提供品や手づくり食品の販売。ミニ喫茶(コーヒー飲み物は無料に！)  
入居者の作品展示(スキルビーズ、ちぎり絵など) \*革工藝展示即売

※お誘い合わせてお出かけください。

※ご不要な品物があればご提供ください。ご連絡があれば、いただきに参ります。



## めがねの声

最近私は とてもショックを受けたことがあります。仲がよかったともだちが 長い入院から帰ってきて 久しぶりに会いましたが、前のようにはなくなりました。Hさんとは、はじめリハセンターの言語の先生に紹介されて、活動ホームの青年クラブと一緒に活動するようになって、旅行のときなどは、車椅子の私の荷物を持って下さって、楽しく過ごしました。そのうちHさんが、コスモス工房に通うようになって、コーラスなどの時やお花の会でも一緒でした。いつも会うとニコニコしてくれたのに、今は車椅子に乗るようになって 私が挨拶に手を振っても、笑顔もなくなりました。きっと重い病気だったのだと思います。私は とてもガックリしています。私も 胸が痛みます。

\* \* \*

障害者は もう大きな障害を受けてしまっているのですが、それでスミではありません。やっぱり 健常者と同じように また病気にもなるし、病気の方は 進むし 安定している人も 少しずつ体が変わっていきます。いまでも 病気が進んでとても心配な方もいます。

私の場合も グループホームに入って微熱が続いて困ることがありました。七沢の更生ホームに1年2か月ほど入所していたり、それから毎月一度は宿泊もしていたのですが...。家から往ったり来たり という状態でした。

いまは、安定してきましたが、でも少しずつ波はあって ずっと元気と言うわけではありません。前より 疲れやすくなっていると思います。

“新年の抱負”も「今年は元気に暮らしたい」などとばかり言っていて 自分でも少し情けないなと思っています。これからもいろいろ書いたり 動いたりできるように 毎日を大切にしたいと思っています。

Hさんも 少しずつよくなって 元気に過ごせるようになればうれしいと思います。いつも心の中で お祈りしています。

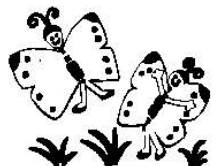
大原 友子

## 《おたより》 — 12月に網島小学校の生徒さんにお話しをしました。寄せられた感想の中

から低学年の方の手紙をいくつか紹介します。(原文のまま) —

◇きょうはながいじかんありがとうございました。習字がうまくてびっくりしました。車いすにのっているとき、どんな気持ちですか。ぼくはまちにふじゆうなかがいたら、できることがあったら手つだいたいです。それれと雨のときはかさをさすのですか。レインコートをきるのですか。これからもがんばってください。(1年、I君)

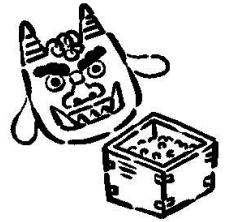
◇今日の話聞いて思ったことは、今までわたしたちみたいに手や足がうごかせるのがふつうだと思ったけど、もっと苦労している人がいるんだなと思いました。私はそんな人たちをおうえんしたいです。(3年、Mさん)



## 今月のよつばホーム

### よつばホーム

2月3日(土)、節分です。よつばの豆まきは、午後のティータイムに行われました。よつばでは室内にて殻に入ったピーナッツを投げる方式です(終わってから集めて殻をむけば、食べられるからです)。いつの間にか鈴木(職員:男)が鬼の役になったようで、「鬼はああ外、福はああ内」と鈴木が入居者に豆を投げられています。しかもわざわざ入居者が狙いやすいような位置に動きながら…最近の鬼は親切ですね。テーブルの上には、豆を買ったときにもらった紙でできた鬼のお面。試しに藤田さんの顔につけてみると…あら、小顔にピッタリ、なんだかあまりにもかわいらしい鬼になってしまって、しばし見とれてしまいました。さてその時居室にいた次郎さん、鬼が自ら豆を持って次郎さんの居室に向かいます。そして、バトル開始!入居者も鬼も関係なく、2人で楽しく激しく投げ合っていました。そして豆まきが終わって30分ほど経過。今井(職員:女)が出勤。次郎さんの居室に挨拶に行くと、次郎さんが隠し持っていた豆を今井へ向かって投げる!投げる!それに応じて今井も投げる!投げる!そして戦闘はリビングへ。次郎 vs 今井の戦いが行われている中、大谷(職員:女)は勤務終わりで帰宅しようと玄関へ。そこに大谷めがけて豆が飛んできて、そうなる大谷も黙って帰れない。次郎さんに向かって投げる!投げる!「鬼は外、福は内」はどこかへ行ってしまった、豆まきバトルの節分でした。



### 第2よつばホーム

夕食をおいしく食べてから各入居者の消灯の時間まで、食休みを兼ねてゆったりとした時間が流れます。今回はそのひとときの様子をお話します。

食事が終わり、すぐ大好きな書き物に集中しだす阿部さん。まだ食べている他の入居者や、キッチンで後片付けをしているスタッフを「おーい」と呼んでみたり、眠くなるまでリビングで過ごしています。

リビングで食べていた富岡さんは和室に上がって食休みをします。テレビを見ていたり、スタッフの様子を気にしていたり、そうしてゆっくり過ごしてから居室に入っています。

和室で食べていた大原さんは、おしゃべりを少しした後に居室へ戻って明日の準備をしてから入浴の順番を待ちます。入浴前にリビングに来てお花を花瓶に生けなおしたり、スタッフと今後の予定を話したりしています。

同じく和室で食事をして山田さんは食後少しの食休みをしてから入浴をしています。お腹いっぱいになり、さっぱりとした後は和室で横になって休み、消灯の時間になると居室に入っています。

夜間は山田さん以外添い寝の体制をとっているため、スタッフも食休みをしながら入居者と過ごしてから、一緒に居室に入り、眠っています。